

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	選択
担当教員			
茂木 創			
A (会計学科)	S (専門科目)	EC (経済)	201 (中級科目)

授業のねらい（概要）	本講義は、マクロ経済学とはどのような学問なのか、どのように使われているのか理解できるよう、基本的な知識の教授を行います。 本講義では、高度な数学は用いず、図表を用いた直観的な説明を行います。 この科目では、D P（ディプロマポリシー）に掲げる商学の各分野に関する基礎知識、ビジネスに関する基礎的な技能を得ることを目的とします。 【身に付くスキル】 論理的思考力・情報活用能力		
授業計画	第1回	経済学の世界 経済学とはどのような学問か・先生と経済学の出会い(体験談)・経済学と数学・英語・歴史などの関係について説明します。 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120）	
	第2回	国民経済計算(1) 総需要・総供給・GDP・三面等価の原則・I-Sバランスについて説明します。 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120）	
	第3回	国民経済計算(2) ベティ＝クラークの法則・国民経済計算について説明します。 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120）	
	第4回	財市場と財政政策(1) ケインズ型消費関数・絶対所得仮説について説明します。 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120）	
	第5回	財市場と財政政策(2) 45度線分析・インフレ(デフレ)ギャップ・総需要管理政策について説明します。 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120）	
	第6回	財市場と財政政策(3) 乗数効果・自動安定化装置・裁量的財政政策について説明します。 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120）	
	第7回	貨幣市場と金融政策(1) 貨幣の4つの機能・貨幣数量説・交換方程式・ケンブリッジ方程式・流動性選好説について説明します。 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120）	
	第8回	貨幣市場と金融政策(2) マネーサプライ・ハイパワードマネー・信用乗数について説明します。 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120）	

	第9回 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120） 財・貨幣市場と総需要(1) 財市場の需給均衡条件・貨幣市場の需給均衡条件からIS曲線・LM曲線を導きます。 第10回 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120） 財・貨幣市場と総需要(2) 財政政策とクラウディングアウトについて説明し、総需要曲線を導出します。 第11回 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120） 労働市場と総供給(1) 失業の種類・総供給曲線・総需要総供給分析(AD-AS分析)について説明します。 第12回 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120） 労働市場と総供給(2) フィリップス曲線、自然失業率仮説について説明します。 第13回 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120） 景気循環 定型化された事実・景気循環の種類について説明します。 第14回 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120） 経済成長 成長会計の原理について説明し、日本の高度経済成長、アジアの成長などについて説明します。 第15回 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120） マクロ経済学と私たち これまで学習したマクロ経済学の知識を使って、私たちの身近なテーマについて考えます。 予習（時間）：・事前配布のレジュメの空所補充（120） 復習（時間）：・板書したノートの整理 ・レジュメの空所補充の再確認（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	マクロ経済の動きの背後にある理論的な構造を読み解くことができるようになります。
到達目標	マクロ経済学では一国全体の集計された経済活動を対象にします。マクロ経済学の専門知識を習得してもらうことはもちろんですが、学んだ知識をもとに、現実の経済現象を論理的に理解できるようになることを到達目標としています。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	講義中に課題を出します。
履修上の注意	板書をしながら講義を行います。「書いて覚える」という習慣を身に付けてほしいからです。わからないところは、質問をしてください。
成績評価の方法・基準	平常課題（20％）＋定期試験（80％）で評価します。
教科書	教科書は使用しません。レジュメを配布し、講義を行います。
参考書・教材	【参考書】 『エンサイクロペディア現代経済入門』 著者名：茂木 創 出版社：唯学書房 発行年：2014年 価格：6912円 備考：高価な本ですが、1冊でミクロ経済学・マクロ経済学を網羅しています。より深く勉強したい学生が参考書として使用してください。 『クルーグマンマクロ経済学』 著者名：ポール・クルーグマン＆ロビン・ウェルス 出版社：東洋経済新報社 発行年：2009年 価格：5184円 備考：この本も定評のあるマクロ経済学の入門テキストです。マクロ経済学だけでこの値段はちょっとお高いですが、こちらより深く学習したい学生が参考書として使用してください。
備考	講義科目
教員との連絡方法	E-Mailにて受け付けます。